一般財団法人　北一ヴェネツィア美術館　　＜2020年4月～2021年3月 展覧会のご案内＞

常設展示

ヴェネツィア貴族の宮殿を再現
四季の暮らしのご紹介

各展示室では、季節感を演出し、宮殿そのままの家具調度品や、貴族の食卓を再現したヴェネツィアガラスによる豪華なテーブルコーディネートを展示致します。併せて、ヴェネツィアの四季の歳時や行事、旬の話題をご紹介致します。

2018年のリニューアルで、マルコ・ポーロの時代をイメージした『書斎』、18世紀頃のトイレや浴槽を再現した『バスルーム』など新たな部屋が加わりました。また、館内全体に家具調度品が増え、“貴族の宮殿”の機能性や華やかな生活、当時の様子がより再現され、さらに充実した展示をご覧頂けるようになりました。

16～18世紀当時の宮殿の機能性の再現をそのままに、四季ごとに展示替えを行ない、貴族の豊かな暮らし、美しいガラスの世界をご紹介致します。

春の宮殿

＜家族の食堂＞

＜宮殿の応接間＞

夏の宮殿

＜貴族の食堂＞

『バラが彩る夏のテーブル』

秋の宮殿

＜宝の間＞

『収穫の秋を象徴するレモンのテーブル』

冬の宮殿

＜貴族の食堂＞
『天使が微笑むディナーテーブル』

『カーニバルのテーブル』

特別展

2020年2月18日（火）～ 5月25日（月）	5月26日（火）～ 9月7日（月）	9月8日（火）～ 12月7日（月）	12月8日（火）～ 2021年3月8日（月）	3月9日（火）～

＜ＶＥＮＩＮＩ展＞
－伝統とモダンデザインの融合－

「抱擁」

砂漠シリーズ

砂漠シリーズ

「カモメ」

VENINI(ヴェニーニ)工房は1921年にムラノ島に設立され、伝統技術とモダンデザインの融合を目指し、建築やファッション業界など、様々な分野の著名なデザイナーと制作活動を共にしてきました。

工房作品の歴史をご紹介しながら、色彩、技法、デザイナーなど様々な角度から注目して作品をご紹介し、新収蔵作品や世界限定生産作品などの貴重な作品も展示致します。

＜ヴィットリオ・コスタンティーニの世界＞
－ガラスの宝石　鳥・虫・魚が大集合！－

「クワガタ」

「魚をくわえたカワセミ」

「ラグーナの魚たち」

長年に渡り、魚をはじめ昆虫や鳥などを題材とした生き物の制作に情熱を傾け、『神業』とも称される繊細でリアルな表現を極めてきたヴェネツィアのランプワーク作家、ヴィットリオ・コスタンティーニ。世界で活躍するアーティストであるコスタンティーニの作品収蔵数世界一を誇る、当館のコレクションを一堂にご紹介致します。

＜レースガラスが彩る日本の四季＞
－ジュリアーノ・バラリンが紡ぐ和の世界－

「夏のおもてなし」

「新年祝いの食卓」

「秋ひだまりの団欒」

16世紀に最盛期をむかえた“レースガラス”は、ヴェネツィアの中でもムラノ島のみで制作され、その技法は門外不出の秘法として優れた腕を持つガラス職人が代々受け継いできました。

現代におけるレースガラスの第一人者、ジュリアーノ・バラリンが、数々の課題を克服しガラス技術の全てを注ぎ込んで制作した、世界で当館にしかない貴重な“レースガラスの和食器”を中心にご紹介致します。

＜ゴッホ　モザイクガラス絵画展＞
－輝く　美しき無限の色彩－

「夜のカフェテラス」

「星月夜」

「カラスの飛ぶ麦畑」

当館の企画により、イタリア・ラヴェンナ市のモザイク専門工房が1993年から95年の3年もの歳月をかけて制作した、世界に類をみないコレクションです。色彩豊かなヴェネツィアガラスの何万個というガラス片が、ゴッホの大胆で力強いタッチを強調し、更なる迫力を与えています。

原画の魅力と伝統的なモザイク技術の素晴らしさ、その融合をお楽しみ頂けます。

＜春の特別展＞
「飾り脚グラス展」

詳細が決定次第お知らせ致します。

企画展

５Ｆ企画展　＜ガラスモザイク絵画展＞

ゴッホの絵をモチーフに制作されたガラスモザイク絵画を展示します。すべて当館のオリジナル収蔵品で、イタリア・ラヴェンナ市の専門工房に依頼して制作致しました。年4回季節ごとに入れ替えし、全26点を順に展示致します。

※12月8日～2021年3月8日は特別展として一堂にご紹介致します。

北一ヴェネツィア美術館ホームページ　https://venezia-museum.or.jp

※特別展、企画展は、都合により期間や内容が変更になる場合がございますので、ご了承下さい。